



## 【株式会社食文化】

# 生産者と消費者をつなぐ架け橋に。 食の力で元気と幸せを届けたい――

生産者と一緒に、食卓に「元気」と「幸せ」を届けたい――  
その実現を目指して、全国各地の食材を取り扱う通販サイト「うまいもん  
ドットコム」、「豊洲市場ドットコム」などを運営している株式会社食文化。  
小学生にオンライン授業をした井上真一さんに話を聞きました。

舌だけでなく  
心で感動を味わってほしい

私が食で感動を味わったのは、  
娘が授業で収穫した大根を食べ  
たときでした。この感動を子  
を持つ世代だけでなく、もっと幅  
広い世代に知ってもらいたい。  
そんな思いがきっかけでこの取  
り組みを始めました。

物の価値はおいしさや品質だ  
けでは決まらないと私は思いま  
す。生産者の思いや産地の文化  
を伝える商品は、それだけで大  
きな価値を生むはず。実際  
に小学生が作ったサラダ玉ねぎ  
には、商品としての評価だけで  
なく、「ありがとう」や「感動した」



株式会社食文化 取締役  
井上 真一 さん

という手紙が届きました。これ  
はかなり珍しいことなんです。

多面的に商品の魅力を考える

マーケティングを学ぶうえで  
小学生に一番覚えてほしかった  
ことは「多面的に見る」ことです。  
サラダ玉ねぎが生産されている  
津奈木町はどんな町なのか、ど  
んな工夫をして栽培されている  
のか、誰が作っているのかなど、  
それぞれの要素に分解すると一  
つひとつの良い所が見えてきま  
す。これを消費者に伝えること  
ができれば、玉ねぎが好きな人  
はもちろん、そうでない人にも  
津奈木のサラダ玉ねぎの良さを  
より理解してもらえるはず。

物事を「多面的に見る」ことは、  
マーケティングに限らず、この  
先の人生で重要なことです。人  
生の壁にぶつかったとき、物事  
を多面的に捉え、分解して考え  
ること、未来は大きく変わら  
れます。今回の取り組みの中で小  
学生にこの力が少しでも身に付  
いてくれたらうれしいです。

津奈木町はアートと自然に恵  
まれた素晴らしい町です。今回  
の取り組み以外にもいろいろな活  
動をしていて、行動力あふれる  
活気ある町でもあります。これ  
からも、町と子どもたちの力で  
地方の食文化をさらに盛り上げ  
るこの活動が続くことを願って  
います。

## 【プロフィール】

2005年に株式会社食文化に入社、2013年取締役就任。現在は豊洲市場を活動拠点に「食のトータルプロデューサー」として、こだわり食品の仕入れ、プロデュース、マーケティング業務に従事。前職でのオーガニック食品専門店を含めて23年におよぶ販売経験を生かし、行政、JA、企業と共に全国各地の商品プロデュースやマーケティング業務にも関わる。「商品の魅力を引き出し、伝えたい」という思いを胸に、豊洲市場ドットコムなど、通販サイトを立ち上げ、生産者と消費者とのつながりを全国に広げている。

## 子どもたちと津奈木町の 農業の未来を見据えて――

サラダ玉ねぎを育て、  
その魅力について考え、  
消費者へ届ける。  
小学生は、今回の事業で、  
多くのことを学び、経験しました。

町の魅力や農家の苦労。  
物事を多面的に見る力。  
物やお金の価値を考えたこと。  
農家や企業と協力し、  
サラダ玉ねぎを完売させたこと。

これらは、小学生がこの先、困難に  
ぶつかったときに、乗り越えるため  
の糧となるでしょう。

サラダ玉ねぎの魅力、町の魅力、  
生産者の思いを消費者へ届ける  
「アグリビジネスチャレンジ事業」。  
それは、マーケティング教育の枠に  
とどまらず、津奈木町の農業発展へ  
の種まきとなり、小学生の未来へと  
エールを届ける取り組みとなるので  
はないでしょうか。

【特集】思いを、届ける。（完）――